

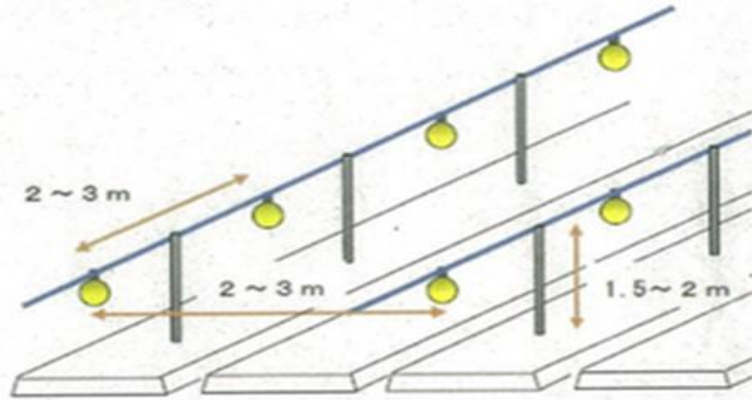
お盆出し小ギク電照処理による開花調節の導入 ～安定的に出荷するために～

令和元年のお盆出荷用の小ギク栽培は、5月の下旬から気温が暖かくなって幼若性を早く喪失した上に、7月の梅雨明けが遅く、発蕾後の高温抑制がかからなかったことから、開花が早まり、お盆の需要期前から出荷が始まりました。毎年の気候変動に対応できるように電照処理による開花調節に積極的に取り組みましょう！

すてっぷ1 電照処理方法

設置方法

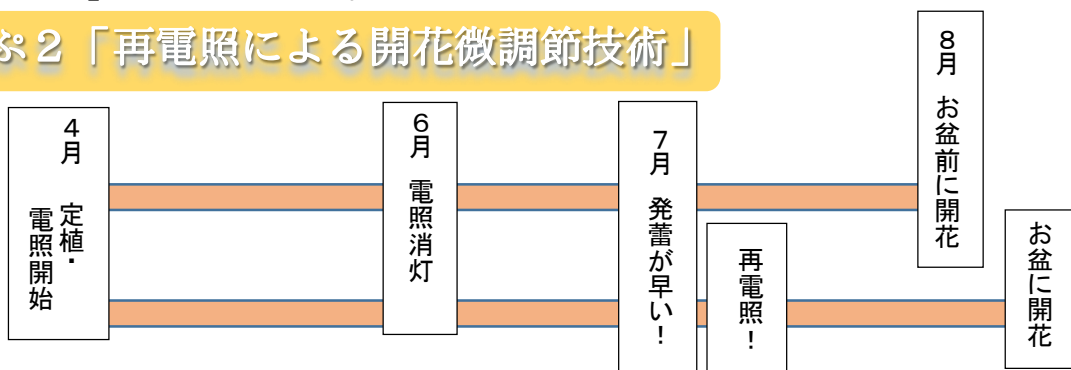
- ・白熱電球(100W型)を10m²に1球になるように配置します。
具体的には、電線を2畝に1列設置し、電球を3m間隔に設置しましょう。
- ※電照処理の効果は品種によって異なります。効果が弱い品種では電球の間隔を狭めましょう。
- ・生長点から電球まで1.5m程度を保ち、生育にあわせて電球の位置を上げましょう。



処理方法

- ・定植時から点灯します。
- ・電照時間は22:00～2:00の4時間の暗期中断とします。
- ・消灯の目安は品種によって異なり、「すばる」は6月10日、「精はんな」は6月15日、「秀うきぐも」は6月20日です。

すてっぷ2 「再電照による開花微調節技術」



通常電照処理は開花予定日の2か月前に消灯してしまいます。その後の気候の変動などで例年よりも発蕾が早く、開花が早まりそうな場合は、発蕾時から再電照を行うことで、数日間開花を遅らせることができます。

(岡山県農業研究所 平成26年度「旧盆出荷用小ギク電照栽培マニュアル」より)

電照処理及び発蕾時からの再電照処理による開花微調節実証結果(抜粋)

品種名	調査区	電照処理期間	再電照処理期間	50%切花日	無電照区からの差
すばる (黄)	無電照区	—	—	7/11	—
	電照区	4/16~6/9	—	7/24	12日
	再電照区	〃	6/25~7/4	7/28	17日
精はんな (赤)	無電照区	—	—	7/16	—
	電照区	4/26~6/15	—	7/24	8日
	再電照区	〃	6/28~7/4	7/29	13日
秀うきぐも (白)	無電照区	—	—	7/18	—
	電照区	4/16~6/20	—	7/29	11日
	再電照区	〃	7/8~7/14	7/31	13日

すばる：平成30年度国産花きイノベーション推進事業実証ほ（調査地：矢掛町）

精はんな、秀うきぐも：平成31年度次世代国産花き産業確立推進事業実証ほ（調査地：矢掛町）

すてっぷ3 品種の選定

新しく品種を導入する際は、電照処理効果が
高い品種を選びましょう。



精ちぐさ



ちづる



すばる



精こまき



はるか

自然開花期：7月

自然開花期：6月

自然開花期：7月

自然開花期：6月

自然開花期：6月

参考

8月4日開花

発蕾～開花目安：

31日

参考

8月7日開花

発蕾～開花目安：

33日

参考

8月10日開花

発蕾～開花目安：

32日

参考

8月10日開花

発蕾～開花目安：

36日

参考

8月9日開花

発蕾～開花目安：

33日



ほたる



さぬき



精しずえ



精しらいと

自然開花期：6月

自然開花期：7月

自然開花期：7月

自然開花期：7月

参考

8月7日開花

発蕾～開花目安：30日

参考

8月5日開花

発蕾～開花目安：29日

参考

8月8日開花

発蕾～開花目安：33日

参考

8月13日開花

発蕾～開花目安：41日

栽培に関しては、お近くのJAや農業普及指導センターにお問い合わせください

作成：岡山県花き消費拡大実行委員会（事業名：令和元年度次世代国産花き産業確立推進事業）